社協
あさきた
第94号
社協あさきた
ボランティアセンターだより
編集発行
社会福祉法人
広島市安佐北区社会福祉協議会
広報委員会
〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19番22号
安佐北区総合福祉センター4階
TEL.082-814-0811 FAX.082-814-1895
E-mail:kita@shakyohiroshima-city.or.jp
http://shakyo-hiroshima.jp/asakita/
発行部数／ 52,000部
2016年（平成28年）新春

小河原・上深川地区社会福祉協議会

「福祉のまちづくりプラン」に取り組んでいます！

地区社協のマスコットキャラクター

小河原・上深川地区社会福祉協議会では、平成24～25年度に地域の課題は何かを知るために、アンケートを実施しました。そして、平成27～28年度にかけてそのアンケート結果を集計し、これを基に地域の課題を整理して、「福祉のまちづくりプラン」を作成する予定です。

アンケートの集計結果から地域の特徴や課題が浮かび上がってきました。

- ■ 年齢→６０歳代以上が他の世代と比べて多い。
- ■ 今困っていること→買い物・通院が不便。家族の体調が優れない。
- ■ 地域にどんな課題がありますか
  →子どもの遊び場が少ない。高齢者支援（相談・介護・見守り）を充実。防犯、防災に関すること。

自由記述からも地域全体の高齢化に不安を感じている声が寄せられています。

このような課題に対して、今後どのように取り組んでいくかを地域で話し合いながら「福祉のまちづくりプラン」を作成して、取り組んでいく予定です。

地区社協が行っている主な取り組み

取組み	目　的	期待される効果
近隣ミニネットワークづくり（見守り）	地域からの孤立防止、変化の早期キャッチとつなぎ	隣近所の助け合い、お互いを気にかけあう地域のつながり
ふれあい・いきいきサロン（行き場づくり）	住民同士が顔を合わせ、なじみの関係をつくっていく場	顔見知りができ、介護予防にもつながる
地区ボランティアバンク（たすけあい）	たすけあい（近助）のある地域づくり	困りごとが解決される

健康講座（笑いヨガ）

福祉講座

目　次～主な内容～

□ 福祉のまちづくりプラン ……………………… P1
□ 地域の思いをカタチに ………………………… P2
□ 安佐北ボランティアフェスタ開催他 ………… P3
□ お知らせ ………………………………………… P4
□ 復興連携センターすまいるの活動紹介他 …… P5
□ ふれあいフォトコンテスト入賞作品他 ……… P6

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。

地域の思いをカタチに
～福祉のまちづくりプランをつくって地域全体で共有しよう～

皆さんは、自分が住んでいる地域について「こうなったらいいのになあ」「ああしたらいいのになあ」という思いはありませんか？「家の近くに気軽に集まれる場所がほしい」「近所に一人暮らしの高齢者がいるので気がかりだ」など、あなた以外にも多くの方が同じ心配をしているかもしれません。

現在、安佐北区ではいくつかの地区社協で、誰もが安心して安全に地域で暮らしていくことを目指して、自分たちの地域について話し合い、目指す姿を共有して活動する過程を形にした「福祉のまちづくりプラン」に取り組んでいます。

福祉のまちづくりプランのながれ

1. 地域を振り返ろう（地域の特徴、人口、世帯数など）
2. これまでの活動を振り返ろう（各団体の主な取組み、活動紹介など）
3. 住民の幅広い意見・事例などを集めて、地域課題を整理（アンケートなど）
4. 地域の方針を「福祉のまちづくりプラン」にまとめよう
5. みんなで共有し、できることから取り組もう

成　果

- 地域の課題が把握でき、解決策を導き出すことができた。
- 地域住民が関わることで、地域の声をプランに反映できた。
- 地域内の諸団体や行政との情報交換が進み、連携が良くなった。
- 住民の地域福祉に関する理解が深まり、地区社協活動等への参加者が増えた。
- 地区社協の取り組み目標が明確化された。
- 地域で新たな人材を見い出すきっかけとなった。

「福祉のまちづくりプラン」とは

自分たちの地域について話し合い、目指す姿を共有し、活動していく過程を見えるかたちにまとめたものが「福祉のまちづくりプラン」です。プランにまとめることで、地区の方向性や実現できたらいいなという思いを地域全体で共有することができます。

区社協では地域のことをみんなで考えて、話し合う場づくりや、地域のみなさんの思いを形にする「福祉のまちづくりプラン」の取り組みを全地区社協に広げていきたいと考えています。

第14回 安佐北ボランティアフェスタを開催！ 大盛況

平成27年10月17日（土）、『笑顔と〜笑顔が〜集まると〜♪』今回もこの歌で始まりました。

天気にも恵まれ、来場者は約380人‼安佐北区で活躍するボランティアグループによるバザーや体験コーナー、ステージ発表等がありました。

1階は手作り品･遊休品･うどん等の販売や遊びのコーナーがあり、「孫に買うちゃった‼」と手作りの大きなぬいぐるみを抱えたおじいちゃん。ワイワイとにぎわいました。

4･5階はボランティアや体の不自由を体験するコーナー等です。「娘に福祉教育をしにきました」と幼い娘さんの手を引いたお父さんもおられました。

ステージ発表

点字体験

また、6階ではステージ発表があり、太鼓･ギター演奏･歌･踊り･ファッションショーなどで、来場された方々が楽しそうに歌いながら手拍子をしてくださり、盛り上がりました。

今回も、笑顔はじける出会いの場となりました。

要約筆記ボランティア 体験講座

〜関心がある…でも自分にできるかな？
そんな皆さん‼まずは体験から♪
一歩踏み出してみませんか〜

【場　所】　安佐北区総合福祉センター 6階 大会議室（安佐北区可部３-１９-２２）

【参加費】　300円（資料代として）

【申込み】　**平成28年2月29日（月）**までに、電話･ＦＡＸ･Ｅメールにて下記の問合せ先まで、氏名･住所･電話番号をご連絡ください。（ＦＡＸ･Ｅメールの場合は、「要約筆記講座申込」と明記をお願いします。）

回	日時	内容	備考
1	3月3日(木) 10:00〜12:00	「要約筆記について」（お話） 「中途失聴･難聴とは？」（お話） 「要約筆記の技術」（実習）	＜講師＞ NPO法人広島市要約筆記サークルおりづる安佐北支部 ＜協力＞ 広島市中途失聴･難聴者協会
2	3月10日(木) 10:00〜12:00	「難聴者の生活」（お話） 「聞こえないことで困ること」（寸劇） 「書いて伝えてみよう」（実習）	
3	3月17日(木) 10:00〜12:00	ボランティア活動について（お話） 交流会	

お問い合わせ先　広島市安佐北区社会福祉協議会
TEL:814-0811　FAX:814-1895
E-mail/ kita@shakyohiroshima-city.or.jp

お知らせ

安佐北区母子寡婦福祉会について

ひとり親家庭の自立促進を、手助けすることを大きな目標にしています。

事業としては、
①技能修得講習会(パソコン、介護職員初任者講習)
②セミナー事業(就職に関する基礎的知識の講習)
③無料法律相談(毎月一回弁護士による無料相談)
④日常生活支援事業　⑤ 就職斡旋事業等々

「母と子・父と子のつどい」として、ミカン狩り・野球観戦、ボーリング大会、ソバ打ち体験、親と子の観劇会、小学校入学時のランドセルプレゼント等沢山の行事をしています。ひとり親家庭の方、一緒に活動しませんか。

詳しくは、
安佐北区の会長福田
までお願いします。
TEL(082)842-1766

ボーリング大会12月13日

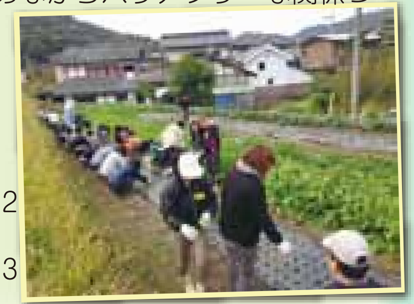
もぎもぎ☆ふぁーむ

障がい児・者とその家族が充実した時間を過ごすことのできる居場所を作りたいという思いから、平成26年8月に『**もぎもぎ☆ふぁーむ**』を結成し、地域の方々の賛同や支援を受けて、畑で作物を作る活動からスタートしました。

言葉でのコミュニケーションや自己表現が不得意な子供達ですが、地域の方々やボランティアさん達と一緒に活動(経験)を重ねるごとに表情も柔らかくなってきたと感じます。

今後も様々な本物体験活動を通じて、会員同士や地域の方々との交流を深めながらバリアフリーな関係づくりと地域の活性化を目指していきます。

★お問い合わせ先★
代　表:藤田　美津代
TEL:080-3885-1452
副代表:藤長　美幸
TEL:090-5693-8003


タマネギを植え付ける参加者

おやじのモットー
地域と地域を虹の架け橋で結ぶ

メンズサロン「虹」

定年退職後の男性が地域デビューできるよう、気軽に立ち寄れる場として、口田地域包括支援センターの支援を受け、おやじの集いが結成されました。ビール片手に人生も趣味も夢もみんなで大いに語り合っています。

年齢を問わずどなたでも参加できます。

開催日時	毎月第４火曜日(祭日の場合変更あり)17:00～18:30
開催場所	口田中学校区内 ・オープンスペース「つどい」(落合南1-2-19) ・くちた園(口田南1-9-8)
参加費	500円

お問い合わせ先
世話人:藤本 悟(口田南)
電話:(082)845-0046
広島市口田地域包括支援センター
電話:(082)842-8818

マスコットキャラクター「ぺんぺん」

安佐市民病院講演会

笑って生きよう市民講演会

講　師 ▶ 島田　洋七　「佐賀のがばいばあちゃん」の著者
と　き ▶ 平成28年2月21日(日)13:30～15:30
ところ ▶ 安佐北区民文化センター(可部7-28-26)
参加費 ▶ 無料(申し込み必要なし)
お問い合わせ先 ▶ 広島市立安佐市民病院　医療支援センター
電話:(０８２)８１５－５２１１

復興連携センター すまいる 活動紹介

すまいるカフェ

地域の有志が集まり月に1度開催してきた「すまいるカフェ」も、昨年12月で14回目の開催を迎えました。地域内での『生きがい作りの場』や誰でも参加できる『憩いの場』となっています。

12月16日 開催
「すまいるカフェ大林・クリスマス会」

12月20日 開催
「すまいるカフェ新建・クリスマス会」

広域避難者支援

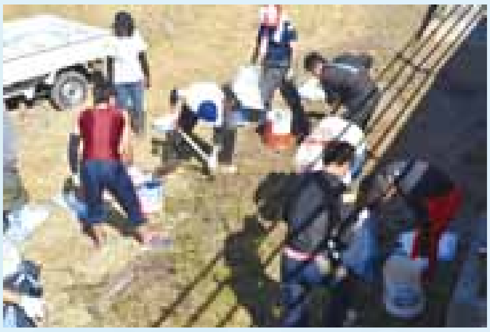
現在、安佐北区内には8.20広島豪雨災害の影響により避難生活をされている方々が約30世帯いらっしゃいます。そういった方々への訪問活動による『情報提供』や広域避難者対象のカフェ開催による『集える場作り』を行っています。

「すまいるカフェ高陽」
（開催場所提供・フジグラン高陽店）

県営住宅への避難者訪問

土砂撤去

引き続き土砂撤去作業も行なっています。



平成27年10月25日の土砂撤去

この日は広島県内外からのボランティア参加者や、高陽東高校の学生のみなさんにご協力いただきました。

カフェ・ペリカンの活動数
【期間：平成26年10月～平成27年12月】

〈すまいるカフェ〉
被災者が気軽に集える場所の開設

大林	21回 /	564人
可部東	19回 /	530人
高陽	8回 /	38人
総数	48回 /	1,132人

〈すまいるペリカン〉
被災地域への戸別訪問活動

大林	711件
可部東	895件
三入	682件
広域避難者世帯	178件
総数	2,466件

災害講演会を開催します ～皆さんのご参加お待ちしています～

開催日時　平成28年2月21日（日）10:00 ～ 12:30

開催場所　安佐北区総合福祉センター　6階大会議室
（広島市安佐北区可部3丁目19-22）

参加費　無料（事前申込不要）

お問い合わせ先
安佐北区復興連携センターすまいる
（広島市安佐北区社会福祉協議会）担当：吉田・藤井・宮田・三村
090-7120-0528（安佐北区復興連携センターすまいる）
082-814-0811（安佐北区社会福祉協議会）

内容

■ 講演会「災害に備える、支えあいの関係づくり」（仮称）
講　師　ＮＰＯ法人明日育
常務理事　長井　一浩　氏

■「安佐北区復興連携センターすまいる」取り組み報告

入賞作品決定

第30回 ふれあいフォトコンテスト

人と人とのつながり・心あたたまる瞬間！

今回みなさんから写真をお寄せいただいた中で入賞作品が決まりました。

最優秀賞

「気をつけていってらっしゃい」　中平　吉子さん

優秀賞

「ハイ、どうぞ」髙橋　敏子さん

優秀賞

「私の案山子」　平元　一幸さん

～かんたんストレッチ体操で、いつまでも元気！～

健康アップ講座

自宅で、一人でもできるストレッチ体操を学び、いつまでも若く健康アップを心がけましょう！

受講者募集！ 参加費無料

平成28年1月29日(金)
14:00～15:30

会　　場：安佐北区総合福祉センター　６階大会議室
（広島市安佐北区可部３丁目１９－２２）

講　　師：公益財団法人 広島市スポーツ協会
安佐北区スポーツセンター　竹中　かすみ さん

対　　象：中高年の方　※当日は運動ができる服装で、水分補給のため飲み物をご持参ください。

定　　員：４０名（定員になり次第締め切ります）

申し込み：1月22日(金)までに、下記問い合わせ先へ電話で「氏名、住所、連絡先」をご連絡ください。

お問い合わせ先　社会福祉法人　広島市安佐北区社会福祉協議会　ＴＥＬ:814-0811／ＦＡＸ:814-1895

主催：安佐北区地域福祉センター指定管理者／社会福祉法人　広島市安佐北区社会福祉協議会

愛の灯

安佐北区社協に、みなさまより多額のご寄付をいただきました。
みなさまのご厚意に感謝申しあげ、ご報告いたします。
（平成27年9月1日～平成27年12月31日）

〈一般〉
久保田　正幸　様
水仙グループ　様
宮田　明典　様
匿　名　様

〈香典返礼の一部〉
西崎　靜子　様
濱村　富士子　様
宮崎　ユキミ　様
野村　惺　様

〈物品寄付〉
お米（30kg）5袋
匿　名　様

★編集後記★

遠くに住んでいる親はその地域にお世話になっているから、私は地域の人にお返しを…。定年後は自分にできることで地域に恩返しを…。感謝や恩返しの気持ちが「お互いさま・ささえあいの地域」をつくる原点かもしれないと感じたメンズサロン「虹」の取材でした。